

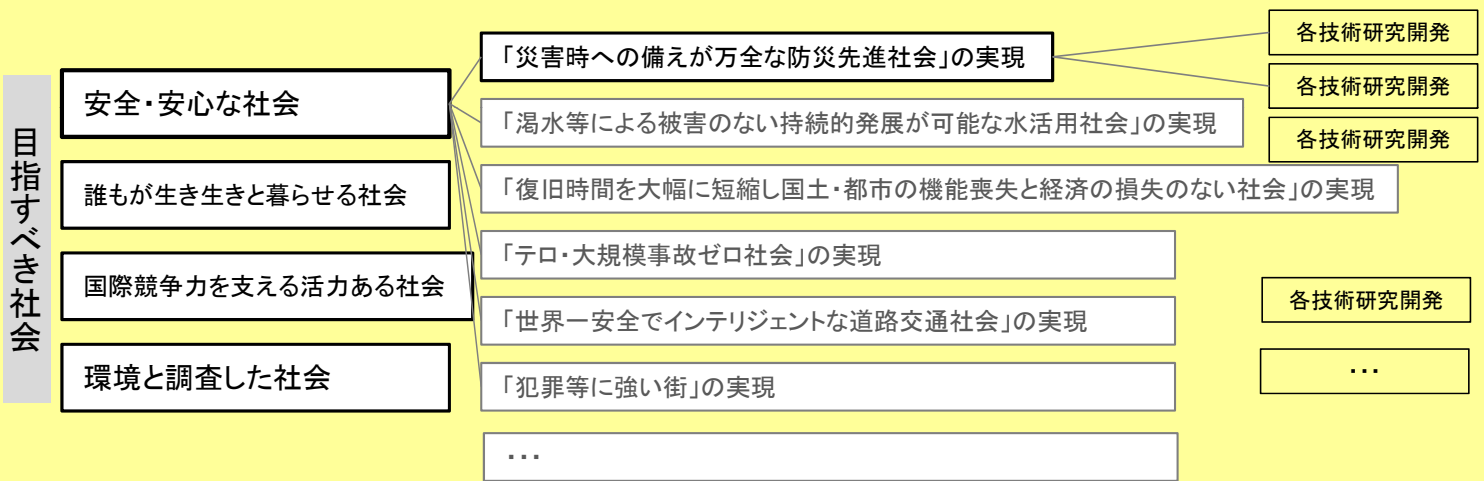
国土交通省技術基本計画は、『国民の暮らしへ還元する社会的技術を推進する』との目標を掲げ、平成20年度から24年度までの5カ年において国土交通省として必要な技術研究開発と、それを推進するための仕組み(技術研究開発システム)をとりまとめたものである。

この中間年度に計画のフォローアップを行うにあたり、各技術研究開発及びそれを推進するための仕組み(技術研究開発システム)について、これまでの取組状況を各実施主体へ調査しとりまとめたところである。

今般の審議会においては、本年度までの実施状況を踏まえて、今後2年間の技術研究開発及び技術研究開発システムを実施するにあたり、考慮すべき観点や改善すべき事項について、ご意見を頂き、それらを今後の技術研究開発の推進に役立てていくこととしたい。

国土交通省技術基本計画 【全体目標:国民の暮らしへ還元する社会的技術を推進する】

1. 目指すべき社会を実現するための技術研究開発の明示 →【資料-4】



今後、2年間の技術研究開発を進めるにあたり、考慮すべき観点や改善すべき事項は何か？

2. 技術研究開発を推進するための仕組み (技術研究開発システム) →【資料-5】

- 技術研究開発の実施体制の整備(産学官連携体制の強化、人材育成、異分野融合の推進 地域の産学官連携)
- 技術研究開発の支援(助成制度の拡充、インセンティブの充実、地域特有の問題解決のための支援)
- 技術研究開発成果の普及(新技術の普及促進、新技術活用システムの整備・充実)
- 国際的な技術戦略の構築(国際標準化活動推進のための体制構築、研究活動と国際標準化活動の一体的推進、人材育成、アジア等との連携、成果の海外普及と国際市場への展開、日本の保有技術による国際貢献)
- 技術研究開発の基盤整備(人材育成、情報収集及び発信、知的財産戦略)
- 技術研究開発のマネジメント(PDCAサイクルに基づくマネジメントシステムの構築、技術研究開発と施策の一体的なマネジメント)

技術研究開発システムについて、更なる改善の余地があるか？

その他、計画全般に渡っての改善のご提案等

ご審議事項